



つばさ・アトムっ子

2014年 10月号



今月の行事



4日(土)	9:30~11:30	パパと子のクッキング
5日(日)	10:00~12:00	カンガルーの会行事(大人の懇談会)
17日(金)	10:00~	お誕生日会
	18:30~20:30	ぞう・みかん懇談会
18日(土)	9:00~11:00	ぞう・みかん懇談会

24日(金)は18:30~全体職員会議です。早めのお迎え・家庭保育などご協力の程、よろしくお願いいたします。

新アトム園内へ道具搬入ご協力をお願い

10月25日(土) 午前10:00~12:00 or 午後13:30~15:00
の間で都合がつく時間帯(子連れ不可←危険です)。

先月のアトムっ子で、引っ越し作業を2日間お願いする旨お知らせしていましたが、午前と午後を使い、25日(土)だけをお願いすることにしました。一人でも多くのご協力をよろしくお願いいたします。詳しくは、4ページ田丸のページに記載しています。

♪ぞう・みかん全員写真♪

青空が広がる9/25、ぞう・みかんの子どもたちが全員そろったので、記念にパチリ。32人のぞう・みかんぐみです。このうち15人がアトムへ転所します。



担任
たにやん&かめちゃん↓



中間総括が終わりました。職員の資質向上の為に休園にさせていただき、ありがとうございました。今回の総括のテーマは、1、必要なところは共通認識しよう！ 2、しっかり分析してこれかに活かそう！の2点について話しました。特に2、については時間をとり、まとめた総括資料を読んで保育園の今後の為に何について深めたいと思ったか職員1人ひとりが4分間スピーチをしました。人前で話すのが苦手という職員も多いのでこれも研修の一環として取り組みました。職員の間総括を終えての感想も載せているので読んで下さい。以下の文面は、仲嶺の半年の振り返りです。

駅伝アトムチーム、第2区ランナースタート！！

仲嶺 真弓

2014年3月30日、職員のお疲れさん会（定年退職を祝う会）で、自分の肩にかけられた園長禱の重みを感じながら、前園長からのメッセージDVDを見てしゃくり上げて大泣きしました。31日、前園長市原悟子の最後の出勤日、静かなLast sceneを見送りました。「見送らんでもいいから」と手を振る代わりに手にした傘を恥ずかしそうに振りながら帰っていく後ろ姿を見て、もう出尽くしたはずなのに、又、込み上げてきそうな涙を必死でこらえていた自分がいました。“本当にお疲れ様でした“という敬意の思いと、空虚感にも似た淋しさ“ ”ここからは自分が先頭に立って歩かないと！という緊張感“ いろんな思いが心の中を交差していました。もう、泣くもんか！！と、平静を装いながら2013年度の幕をおろしたのが遠い昔のようにも感じます。でも、まだあれから6カ月。やっと自分で殻を突いて、外の世界へ飛び出したひよっこ園長。しっかり、スタートラインに立ってスタートを切れているのかも判らない状態。しっかりスタートを切れているかは、みなさんの判定を仰ぎたいところです。こんな園長ですが、改めてよろしくをお願いします。

4月。新入園児は6名。人数は少なくとも、ようこそつばさ共同保育園へ！の気持ちを大切に、コサージュをつけ、スーツを着込んで、緊張感を漲らせ出迎えた入園を祝う会が2014年度の幕開けとなりました。



2014年度4月は、アトムっ子たちを受け入れ園児数178名。それに伴い職員数も通常の倍になり43名のスタートでした。保育室の片付けは何とか間に合ったものの事務室は騒然としていて、祝う会があるからと狭い応接室を飾るのが精一杯。休憩室は何十年もの時代を重ねてきた貴重なアトムの資料に埋め尽くされている状態でした。荷物が片付かないまま、2週間近くは満員電車のようにギュウギュウ詰めの中で、壁に背を付け、脚も伸ばせず体育座りで一息ついている職員の休憩姿を見て、一息つけてないよなあ…と申し訳ない思いで一杯でした。片付けが終わらないまま、新年度の滑り出しは厳しく、新しい生活、初めての状況に大人が戸惑い、毎日何かが起こり、その度に状況を把握、整理して、解決策を考え、対応する繰り返し。年度始めは他団体との日程調整や、提出書類があり、事務仕事は山積み。職員が倍になったということで、シフト表作り、出勤簿のチェックも倍の時間がかかり、1日12時間以上働いても仕事が片付かず、そんな状況に自分自身が発狂しそうな毎日でした。3月末は、こんなひよっこ園長を職員みんなが屋台骨となって支えてくれるから大人数になっても何とか乗り切れるはず！という希望があったけれど、職員が新たな生活ペースを掴むのに四苦八苦している状況は隠せず、その希望がもろくも2~3日で音をたてて崩れていくのを感じました。それでもひたすら突き進むしかない。「毎日起こる出来事が貴重な研修の場で、学びになる。」そんな前園長の言葉と、何があってもうつむかずに立ち向かう背中を思い出して、自分の気持ちを奮い立たせていた園長1年目のスタートでした。

5月。4月から引き続き持ち越しの出来事について考え続けました。気持ちを十分聞きたい。解り合いたいという思いからした対応も、園長としての力量不足を痛感させられました。管理職として、もっとしっかりしろ！と内なる自分が自分を攻め立て、ひたすら孤独と向き合うことしか思いつかない日々でした。それでも、今の状況から目を伏せずに前を向く。その姿勢は忘れず貫き通し、各クラス懇談会に参加しました。参加することで保護者の声や、表情、クラスの雰囲気を感じることができ、全てのことがマイナスではなく、何が足らなかったのかが明確になっていきました。保護者の生の声を聞くことの大切さを再確認できました。

6月。カンガルーの会（つばさ保護者会）が今年度、本格的に始動しだし、保護者と共に行事を造れることを嬉しく思いました。「私達も保育園を造る一員だから、したいことがあるので意見を言わせて」と発信してくれたことに改めて感謝します。職員のみではできなかった夕涼み会が、保護者の力で開催に向けて動き

出しました。職員だけでは思い付かないアイデアや、やりたいことをやる！というエネルギーな行動力、何よりも、若手職員が保護者と関わりながら、何かを実感している姿を見て嬉しく思いました。

7月。癒るメン（父の会）のお父さんたちの声かけで、つばさの園庭に念願の砂場が完成！！ 以前から砂場があれば…とっていて、いいアイデアがないですかと声をかけたことが、あつという間に実現へと動き出し、お父さんたちの実行力に唖然とすると同時に感動しました。この2カ月間は、初のつばさ・アトム合同での5歳児のお泊り保育行事もあったので、職員にとっては体力的にすごくハードな日々で、誰か体調を崩し保育に支障はでないかと心配しましたが、大きな混乱はなくほっと胸を撫で下ろしました。そしてハードな毎日の中に詰まっていたこと（沢山の保護者の思いを知ることができたこと、沢山の子どもや大人の笑顔と出会えたこと）が何よりもこれからの自分たちの力となりました。

園内が少し落ち着いてきた頃、一息つく間もなく近隣の対応に追われました。地域があつての保育園。いつも騒がしくしていることに対してのお詫びと、感謝の気持ちを忘れず、誠意を持って話を聞くこと。近隣との付き合いはその気持ちに尽きます。車の走行、駐車マナーをはじめ、駐車場や園庭で何気に出していただろう大声も、近隣への配慮を忘れずに意識していかなければならないと思います。きっとアトムでも同じだと思います。

8月。 激動の4カ月が経ち、職員の疲れも見え始め体調を崩す者も多くなりました。特別休暇の夏休みが僅かな安らぎになればと願いました。

つばさヶ丘西夏祭りもお手伝いできることが年々増え、地域に根差した保育園になりつつあることを実感し、嬉しく思いました。地域のイベントや育む会のイベントは、自分たちの休日を使つての参加になるので、疲れ切っていればなかなか参加するのも億劫になる職員もいたかもしれません。けれど、園行事以外のイベントは日頃あまり接することのない人との出会いがあり、いつもと違う角度で物事を考えられたり、新たな気付きもあります。日頃自分たちがやっていることが、外からはどんな風に見えているのかを知ることできるし、イベントから学べることも、元気をもらえることが沢山あります。そんな機会を手にもできないことはとても残念なことです。だから、日頃から疲れを溜めないような仕事の仕方をそれぞれが考えることが必要だとい8月の職員会議でも話ししました。

半年経って今思う事。 思い起こせば、来る日も来る日も考える事ばかりで頭が休まる日は片手で数えられるほどだったように思います。いろんな出来事がある度に、職員しっかりしてくれよ！！ という言葉が幾度となく自分の口から出ていました。けれど、振り返ってあらためて考えると、チームのスターティングメンバーが今、ここに居るメンバーであることに感謝します。 5・6月職員会議でそれぞれに語ったことが、これからの職員関係に繋がる第1歩なのだろうと思います。まずは、自分を語ること。そして相手のことも聞き、互いを理解し合う事。そのベースをスターティングメンバーが持っていることに安心しています。勤続年数が浅い若手職員には、自分1人で悩みを抱え込まないでほしいと思います。できないことがあつてあたり前。できない自分を責めず、わからないことは素直に聞く。負けん気を自分に向ける刃にせず、次のジャンプアップする力に変えてほしい。中堅職員には、強いられることも多くなり、自問自答してもがき、そんな自分に愛想が尽くことがこれからも多々あると思います。でも仕事の楽しみは忘れずに持っていよう。それがあればきっと目をそらさずに愛想が尽きてしまう自分とも向き合えるはず。諦めなければ必ず何かが見えてくると思います。そして、絶対忘れてはいけない存在のパート職員には、感謝の気持ちで一杯です。今年度は職員の手を付けるという意味でも、あえて、パート会議はせずに、各クラスで話したり、伝えたりすることに重きをおきました。結果、年度初めから、多くの戸惑いがあったと思います。けれど、戸惑いがある度に何らかの発信をしてくれたことに感謝します。園にとっても大きな力です。後半も又、戸惑うことがあると思いますが、変わらず、援護をお願いしたいです。最後に…。 “ひまわり”の歌の歌詞のこの一節、「私に出来なくて、あなたにできること。足りないものがみんなあるから、誰かを思う愛になる。」これをいつも心に奏でながら、後半も周りに見える景色を楽しんで、このメンバーと一緒に駆け抜けて行きたいと思います。

※お知らせ※
つばさマジックショーの日程が変更になりました。
11/15（土）→11/16（日）

“新園舎！完成までカウントダウン！！”

アトム共同保育園 園長田丸あけみ

アトムの建て替え作業が終わりに近づいてきました。

先日、工事中のアトム新園舎に入る機会がありました。まだ、機材や道具があり、足の踏み場に注意しながら進む感じでしたが、つばさ園舎の様に木造のなんとも言えない温かみが心地よく、保育室も光が差し込み開放感たっぷりでした。建て替え前は、地震や台風が来る度に不安になる程、老朽化が進んでいました。新園舎になり、子ども達が安全な空間で過ごせるようになる事が何より嬉しいです。

この4月からは、元々つばさ共同保育園を利用されていた方にとっては大人数でのスタートとなり、過ごす中でご不便・ご迷惑をお掛けする事も多々あった事と思います。カンガルーの会（つばさ保護者会）発信で開催が実現した夕涼み会では、アトムの保護者にも声を掛けて頂いた上、他園に通っている元アトム在園家庭にも招待状を届けて頂いた事にも感謝の思いでいっぱいでした。つばさ、アトム関係なく、同じ行事と一緒に楽しめた事は、園長としてとても嬉しい出来事でした。皆様のご理解・ご協力のおかげで、無事に半年を終える事が出来そうです。本当にありがとうございました。

又、アトムの保護者にとっても建て替えは、仕方のない事と理解して頂きながらも、送迎や通勤等で不便な事も多くあったかと思えます。けれど、園舎完成は目前です。11月を楽しみにもうしばらくお待ちください。

この半年を振り返ると、保護者の力が本当に大きかったということが私の心に残っています。年度末は、保護者も仕事で忙しい時期に、引越し作業の為、家庭保育の協力を数日間お願いしましたが、多くの家庭に協力して頂き、引越し作業や、保育室作りをする事が出来ました。子どもたちについては新しい環境にもすぐに馴染み、大きな混乱はなく落ち着いて生活していることが何よりもの安心でした。

11月からは、また、それぞれの園での生活が始まります。アトム共同保育園には、アトム在園児だけではなく、つばさや他園に通っている親子、家庭保育をしている親子にも気軽に足を運んでもらえる保育園でありたいと思っています。色々な事に感謝しながら後半をスタートさせたいと思っています。



【 お願 い 】

う再度、引っ越しのご協力をお願いします。

今回もどうぞ運搬作業での力を貸して下さい。

①10月25日（土）午前10：00～12：00 の間で都合がつく時間帯。
午後13：30～15：00

②上記の時間帯で軽トラックを貸して頂ける方、手伝い出来るよという方がいましたら、事務室又は担任までお知らせ下さい。

*子ども同伴での引っ越し作業は大変危険ですのでご遠慮下さい。出来るだけ男手が必要です。集合場所は、新園舎内のホールです。

*先月のアトムっ子で、引っ越し作業を二日間に渡りお願いしていましたが、午前と午後を使い、一日で行う事にしました。一人でも多くの方のご協力を宜しくお願いします。

当日は、引っ越し作業現場へ職員を一人でも多く配置したいので、家庭保育の協力が可能な方は、よろしくお願いします。

つばさに雰囲気
似ていますね